

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	デマンド型乗合タクシー運行委託事業	五條市	6,484,000	6,484,000	総事業費 11,424,735

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	デマンド型乗合タクシー運行委託事業
	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	五條市
	交付金事業実施場所	五條市一円
	交付金事業の概要	五條市内にデマンド型乗合タクシー4ルート（①樫辻～奥谷経由五條線 ②城戸～谷の宮経由五條線 ③西阿田線 ④大深線）を運行します。高齢者等、地域住民の移動手段として活用してもらうことで、安心して生活を営む基盤を整備し、ひいては人口流出の抑制による定住促進が期待できます。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>五條市地域公共交通網形成計画『ゴーちゃん交通計画』 (平成29年度～令和3年度)</p> <p>基本方針② 地域特性に応じた、地域公共交通の維持及び利便性の向上 目標 誰もが利用しやすい公共交通網の構築</p> <p>数値目標 デマンド型乗合タクシーの利用者1人あたりの運行経費（4路線の平均） 2,700円以下 ※平成28年度の利用者1人あたりの運行経費（4路線の平均）の平均値より、約1割高い値</p>				
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由	五條市地域公共交通網形成計画『ゴーちゃん交通計画』の終期まで				
成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度
1人あたりの運行経費 4路線の平均 2,700円以下	平成28年度の利用者1人あたりの運行経費（4路線の平均）の平均値より、約1割高い値	成果実績		3,165	
		目標値		2,700	
		達成度		85.3%	
評価年度の設定理由	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。				

交付金事業の定性的な成果及び評価等						
交付金事業の成果目標及び成果実績	<p>主に路線バスが廃線となった地域において、過疎化・少子高齢化が深刻化し、人口減少が続く中、「自由乗降」「自由降車」等利便性向上を図りながら事業実施しており、主に交通弱者の移動手段として市民生活を支えています。また、地域の高齢者の見守り機能も有しているほか、小中学生の通学手段にもなっている路線もあり、老若男女幅広く利用されています。</p> <p>令和3年度においては、昨年度に引き続きコロナ禍の中、車内消毒・換気の徹底等により新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、地域住民の生活を守るため、安定した運行の維持を行っています。また、コロナ禍における市民への負担軽減策として運賃無償化も実施しています。</p> <p>なお、令和3年度においてはコロナ禍による利用の落込み等により利用実績は減少しております、成果指標は達成できていません。引き続きコロナ禍の状況を注視しつつ、ニーズに適した運行内容等について検討しながら運行を継続します。</p>					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	有					
交付金事業の活動目標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交付金事業の総事業費等	デマンド型乗合タクシー 年間利用者数	活動実績		9,870	7,741	4,033 (4月～11月)
		活動見込	人	12,000	12,000	5,440
		達成度		82.3%	64.5%	74.1%
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考		
総事業費	20,294,160	19,974,327	11,424,735	令和3年度は4月～11月の実績		
交付金充当額	9,000,000	9,000,000	6,484,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	9,000,000	9,000,000	6,484,000			

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
デマンド型乗合タクシーの運行・管理	随意契約	五條二見交通株式会社 本社営業所 代表取締役 油谷收造	単価契約（一回あたり） • セダンタイプ 5,340円 • ジャンボタクシー 6,180円 • マイクロバス 11,000円 ※利用人数に応じて使い分ける。
交付金事業の担当課室	市長公室 企画政策課		
交付金事業の評価課室	市長公室 企画政策課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業	吉野町	4,400,000	4,400,000	総事業費 5,408,284

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	福祉対策措置	よしのこども園維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉野町
交付金事業実施場所		吉野町大字飯貝
交付金事業の概要		特別支援保育担当者の2名の人物費に充当することで、こども園の維持運営を図ります。特別支援を要する園児および保護者が安心して子育てができる環境が整備でき、女性が暮らしやすいまちづくりの推進につながります。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>○吉野町教育振興基本計画 基本方針 1学校（園）教育の充実 主要施策 特別支援教育の推進 特別な支援を必要とする子どもたちが、主体的に取り組み、その能力を最大限に伸ばすよう、適切な指導や支援を行います。</p>								
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度						
事業期間の設定理由	こども園の学年制によるもの								
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度				
	特別支援担当保育者の配置	特別支援を要する園児に対する担当保育者の割合	成果実績	人	保育者2人（園児3人）				
			目標値	人	保育者2人（園児3人）				
			達成度	%	100.0%				
	評価年度の設定理由								
	児童の流動的な入退園に対応するためです。								
	交付金事業の定性的な成果及び評価等								
交付金事業の活動目標及び活動実績	交付金事業実施で、特別な支援を要する児童の安定した教育が行えました。								
	評価に係る第三者機関等の活用の有無								
	無								
	活動指標								
交付金事業の活動目標及び活動実績	特別支援担当保育者活動日（全210日）	活動実績	日	254	207	210			
		活動見込	日	254	207	210			
		達成度	%	100%	100%	100%			

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
総事業費	4,667,534	5,098,864	5,408,284	
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000	

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
保育講師人件費	雇用	会計年度任用職員 保育講師2名	5,408,284
交付金事業の担当課室	教育委員会事務局		
交付金事業の評価課室	政策戦略課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	十津川村衛生センターごみ処理施設整備補修工事	十津川村	23,611,000	23,611,000	総事業費 26,810,300

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	十津川村衛生センターごみ処理施設整備補修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十津川村
交付金事業実施場所		十津川村大字高滝
交付金事業の概要		当事業により機器全体の延命化や公害の暴露防止など安全な運転管理を図ることができます。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【交付金事業に関する主要政策・施策】</p> <p>第5次十津川村総合計画（平成29年度～令和8年度）</p> <p>「心身再生の郷」を目指す方向性と定め、恵まれた自然環境の中で、人間らしい生き方を求めて、本物の自然や文化との触れ合いを通じ、村民や客人との深い交流ができる人本位の郷づくりをめざします。</p> <p>むらづくりの分野別方針</p> <p>『安心・安全な生活環境・基盤の充実』道路等の整備による生活基盤の強化</p> <p>【目標】</p> <p>施設が故障により稼動出来ない日を無くします（完全実施）</p> <p>(現状)</p> <p>稼動すべき日数 171日（令和4年2月28日時点）</p> <p>目標 稼働率100%</p>																
事業開始年度	令和3年度 事業終了（予定）年度 令和3年度																
事業期間の設定理由 交付金事業の成果目標及び成果実績	<table border="1" data-bbox="601 843 1992 1033"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>成果指標</th> <th>単位</th> <th>評価年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設の稼働率</td> <td rowspan="3">稼働日数÷稼働すべき日数×100</td> <td>成果実績</td> <td>%</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>%</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価年度の設定理由</p> <p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施。</p> <p>交付金事業の定性的な成果及び評価等</p>	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	施設の稼働率	稼働日数÷稼働すべき日数×100	成果実績	%	100.0	目標値	%	100.0	達成度		100.0%
成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度													
施設の稼働率	稼働日数÷稼働すべき日数×100	成果実績	%	100.0													
		目標値	%	100.0													
		達成度		100.0%													

	事業実施により、確実に施設が稼働できるようになりました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	施設の年間処理量	活動実績	t	1,075	1,044	887
		活動見込	t	1,097	1,075	1,044
交付金事業の総事業費等	達成度			98%	97%	85%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考		
	30,452,400	28,030,200	26,810,300			
	27,333,000	24,400,000	23,611,000			
	うち文部科学省分					
うち経済産業省分		27,333,000	24,400,000	23,611,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
焼却炉の整備	指名競争入札	近畿工業株式会社 代表取締役 田中恒良		26,810,300		
交付金事業の担当課室	十津川村衛生センター					
交付金事業の評価課室	十津川村役場 財政課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	十津川村体育文化センターLED化事業	十津川村	10,000,000	10,000,000	総事業費 11,089,100

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	十津川村体育文化センターLED化事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		十津川村
交付金事業実施場所		十津川村大字湯之原
交付金事業の概要		十津川村体育文化センター内のアリーナ及びギャラリーの水銀灯（96個）をLED照明に取り替えます。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【交付金事業に関する主要政策・施策】</p> <p>第5次十津川村総合計画（平成29年度～令和8年度）</p> <p>「心身再生の郷」を目指す方向性と定め、恵まれた自然環境の中で、人間らしい生き方を求めて、本物の自然や文化との触れ合いを通じ、村民や客人との深い交流ができる人本位の郷づくりをめざします。</p> <p>むらづくりの分野別方針</p> <p>『教育・生涯学習の推進』村民の生きがいとなる自主的な生涯学習活動の推進</p> <p>【目標】</p> <p>施設利用者数の維持 (令和元年度実績)</p> <p>利用者数 5,345人 目標 増加率100%</p>			
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度	
事業期間の設定理由				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位 評価年度 令和3年度
	施設利用者数の維持	利用者実績／令和元年度利用実績	成果実績 %	31.8（令和3年11月末日時点）
評価年度の設定理由				
<p>毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施します。</p>				
交付金事業の定性的な成果及び評価等				

	コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく落ち込んだことで、目標値達成は困難となったものの、事業により自主的な生涯学習活動を推進する施設の準備が出来ました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
	L E D 照明化	活動実績	個	96			
		活動見込	個	96			
		達成度		100%			
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備 考		
総事業費	11, 089, 100						
交付金充当額	10, 000, 000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	10, 000, 000						
交付金事業の契約の概要	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
L E D 取替工事	指名競争入札	株式会社 五伸 代表取締役 翼 俊憲		11, 089, 100			
交付金事業の担当課室	十津川村役場 施設課						
交付金事業の評価課室	十津川村役場 財政課						

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村	4,436,000	4,436,000	総事業費 8,622,278

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	川上村国民健康保険 川上診療所維持運営事業	川上村国民健康保険川上診療所維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		川上村
交付金事業実施場所		川上村大字迫
交付金事業の概要		診療所の医師1名の人物費に充当し、診療所の維持運営を図ります。へき地である本村においては、診療所が重要な医療施設となっています。その診療所の維持運営を図ることで、住民が安心して生活できる基盤を整備し、ひいては人口流出の抑制による定住促進が期待できます。

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 第5次川上村総合計画（平成27年度～平成36年度） 目標：「安全で安心できる地域社会に包まれた暮らしの実現」 福祉プラン：「福祉のサブ拠点づくり」・「地域ケア会議づくり」 • 2つの福祉プランと密接に関連する医療を充実させることで、 きめの細かいサポート体制の構築に努めます。</p> <p>【目標】 常勤医師の確保 1名</p>						
事業開始年度	平成28年度	事業終了（予定）年度	令和3年度				
事業期間の設定理由							
成果目標 診療所受診者数の拡大	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度		
	診療所受診者数の拡大	診療所受診者数	成果実績	人	1,712		
			目標値	人	4,000		
			達成度	%	42.8%		
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価を実施します。							

交付金事業の成果目標及び成果実績

交付金事業の定性的な成果及び評価等

へき地である本村において、常勤医師を確保することは非常に困難な事であり、村民が安心して生活する上で最優先課題だと考えられます。無医村となることは過疎化に拍車をかける要因の一つになるとを考えられるため、引き続き常勤医師を雇用していくかなければならないものです。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	診療日日数	活動実績	日	242	122 (R2. 4～R2. 9)	123 (R3. 4～R3. 9)
		活動見込	日	242	243	243
		達成度	%	100%	50. 2%	50. 6%
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度		令和3年度	備 考	
総事業費	15, 089, 792	8, 638, 160		8, 622, 278	令和2, 3年度は 4月～9月の実績	
交付金充当額	4, 400, 000	4, 400, 000		4, 436, 000		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4, 400, 000	4, 400, 000		4, 436, 000		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
人件費	雇用	医者1名	8,622,278
交付金事業の担当課室	川上村水源地課		
交付金事業の評価課室	川上村水源地課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ハチクマ谷水路改修工事	天川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,953,300

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ハチクマ谷水路改修工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		天川村
交付金事業実施場所		天川村大字山西地内
交付金事業の概要		天ノ川の支流となっているハチクマ谷は、豪雨により法面の側壁が削られ、荒れ果てた状態になっており、将来的に効果的な排水機能を果たせなくなることが推察されます。また、これにより近隣の民家に冠水等の被害を及ぼす恐れがあるため、擁壁の改修を図り、被害防止に努めます。 施工延長 10.0m

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>交付金事業に関する主要政策・施策</p> <p>天川村長期総合計画 後期基本計画（平成27年3月～） 第2編 基本計画 第2部 分野別計画 第3章 安全で、安心して暮らせる生活基盤づくり 第1節 道路・交通_暮らしをささえる交通網の整備 ・主要道の改良整備は、適切な住環境の構築に欠くことの出来ないものであるため、引き続き整備を実施し、住民の安全性・利便性の向上を推進します。</p> <p>目標：主要道の改良整備により、住民の安全性・利便性の向上を図ります。</p>				
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度		
事業期間の設定理由	事業実施場所における住民の安全性・利便性の向上を図るには、迅速な施工が必要なため、当該年度内での期間を設定しました。				
成果目標 水路擁壁の改修により住民の安全、安心の確保。	成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和3年度	
	側溝工事完成延長÷路線延長×100	側溝工事完成延長÷路線延長×100	成果実績	% 100	
			目標値	% 100	
			達成度	% 100.0%	
評価年度の設定理由					
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施後に評価するため。□					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>当事業の整備対象水路は、主要地方道「大峯高野天川線」に付随しており、近隣住民の安全性・利便性の向上を目的に実施しました。</p> <p>この路線に係る水路は、山地等を含む流域からの雨水排水機能も有していることから、豪雨により法面の側壁が削られて荒れ果てた状態になっていました。これにより、将来的に効果的な排水機能を果たせなくなることが推察され、近隣の民家に冠水等の被害が及ぶことが懸念されていました。</p> <p>当事業による水路整備によって、当該水路はより効果的な排水機能を有し、近隣民家への減災に繋げることができました。また当事業の実施により、本村の長期総合計画内に記載している「安全で、安心して暮らせる生活基盤づくり」の推進を図ることができました。</p>					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	無					
	活動指標		単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度
	ハチクマ谷水路改修工事を実施。	活動実績	m	9.0	15.8	10.0
		活動見込	m	9.0	15.8	10.0
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	備 考
総事業費	3,990,800	6,648,200	4,953,300	
交付金充当額	3,400,000	4,400,000	4,400,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分				

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
道路工事	指名競争入札	康平鉄工所（天川村）	4,953,300
交付金事業の担当課室	産業建設課		
交付金事業の評価課室	地域政策課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	村道平大股線道路改良事業	野迫川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,541,900

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	村道平大股線道路改良事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		野迫川村
交付金事業実施場所		奈良県吉野郡野迫川村大字 平 地内

交付金事業の概要	<p>当該路線における路肩崩壊部分について、車両の通行に危険性が懸念され、安全で快適な走行に支障をきたしてきました。路肩崩壊部分を整備することにより村民及び観光客の安全な交通が確保できることから路肩崩壊部分について整備します。</p> <p>工事延長L=17.4m</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 野迫川村総合戦略 基本目標：美しい野迫川村で「自分らしく なが～く 暮らす 『道路・交通網の整備促進』 舗装面の平坦性を確保することにより村営バスの運行路線及び 観光施設へのアクセスの際の事故防止寄与に努めます。</p> <p>【目標】 村道平大股線道路改良事業の実施 ○重力式擁壁工　　目標　V=150.0 m³　　現状　V=56.0 m³</p>			
事業開始年度	令和3年度　　事業終了（予定）年度　　令和3年度			
事業期間の設定理由				
成果目標 道路改良率	成果指標 対策済箇所 体積÷要対 策体積×100	単位 成果実績 m^3	評価年度 47.0	令和3年度
		目標値 m^3	47.0	
達成度 $\%$		100.0%	評価年度の設定理由	

交付金事業の成果目標及び成果実績

交付金事業の定性的な成果及び評価等

今回整備対象とした路線は、本村における主要生活道であり、事業を実施することで整備率の改善を図ることができました。この路線においては、路肩崩壊部分について車両の通行に危険性が懸念され、住民及び観光客の交通に支障を与えていました。今回、路肩崩壊部分を整備することで通行車の安全な交通が確保でき、当村の総合戦略の基本目標の推進を図ることができました。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	舗装補修延長及び道路改良数量	活動実績	m/m ³	110.0	110.0	47.0
		活動見込	m/m ³	110.0	110.0	47.0
		達成度	%	100%	100%	100%

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	備 考
総事業費	5,068,440	4,657,400	4,541,900	
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
道路工事	指名競争入札	小倉建設 株式会社	4,541,900	
交付金事業の担当課室	野迫川村建設課			
交付金事業の評価課室	野迫川村建設課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	平成の森バンガロー新築工事	下北山村	9,141,000	9,141,000	総事業費 14,458,400

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	平成の森バンガロー新築工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		下北山村
交付金事業実施場所		下北山村大字上池原
交付金事業の概要		昭和60年より同キャンプ場の整備が開始され平成2年に進入路・管理棟・バンガロー10棟他が整備されました。現在ではバンガロー18棟整備されておりますが、整備当初のバンガローは築30年経過し、建物が老朽化しているため新たにバンガローを新築し利用者の利便性向上を図ります。
交付金事業に關係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		下北山村地方創生総合戦略(令和2年度～令和6年度) 基本方向 I 交流人口の拡大 施策① 下北山スポーツ公園施設の再整備（利用可能人数の拡大） 【基本方向】 <ul style="list-style-type: none">・今後も、地域おこし協力隊制度や民間活力も入れながら事業が持続可能な取組になるよう工夫したいです・キャンプ場、公園施設、宿泊、温泉施設の利用者・イベント参加者、登山客の人数を毎年度5%増を目指します (釣 客除く)

事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度							
事業期間の設定理由	単年度施工で実施できるため									
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度					
	改修を実施することで、施設利用者の利便性・快適性が確保されます	施設を改修することで、さらに利用者数増加に努める。	成果実績	人	28,705					
			目標値	人	30,000					
			達成度	%	95.6%					
	評価年度の設定理由									
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を行う為、事業実施後は、事業評価を実施します。									
	交付金事業の定性的な成果及び評価等									
過去2年間のキャンプ場利用者数のデータでは、令和2年度23,022人/年、令和3年度28,075人/年と新型コロナウイルス感染拡大により施設利用者の減少が見込まれましたが、増加傾向にあります。キャンプ場利用者は今年度も目標値を達成することが出来ませんでした。今回の事業で施設を向上することが出来たので、今後は感染拡大が終息すれば、利用者も更に増加すると思われます。										
評価に係る第三者機関等の活用の有無										
無										

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度		令和 年度			
	平成の森バンガロー新築工事（延べ床面積）	活動実績	m ²	46.37					
		活動見込	m ²	46.37					
		達成度	%	100%					
交付金事業の総事業費等	令和3年度			備 考					
総事業費	14,458,400								
交付金充当額	9,141,000								
うち文部科学省分									
うち経済産業省分	9,141,000								
交付金事業の契約の概要									
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額					
平成の森バンガロー新築工事	指名競争入札	(有)大進工業		14,458,400					
交付金事業の担当課室	農林建設課								
交付金事業の評価課室	農林建設課								